

スポーツ総合演習

スポーツ健康科学科の授業は、一般教科に加えて3年間で計25単位の専門科目の授業があります。

専門科目では、講義・演習系の授業は「スポーツ概論」と「スポーツ総合演習」、実技系の授業は部活動と連動した「スポーツⅠ（陸上・水泳）、スポーツⅡ（野球・バドミントン）、スポーツⅢ（柔道・フェンシング）、スポーツⅤ（野外活動）、スポーツⅥ（体づくり運動）」を履修しています。

スポーツ総合演習では、1年生は「コンピューターの基本操作」（ワード、エクセル、パワーポイント）、2年生は「バイオメカニクス」、「SPLYZA（動作解析ソフト）を用いた動作分析」、「統計解析」等を行います。

そして、2年生の夏休み以降には普段の授業、部活動などにおいて「なぜだろう？」と興味を持ったことについてテーマを設定し、実験・調査などを行い、その成果をプレゼンテーションする研究発表会を行っています。

実験・調査を計画的に進めていくためには時間・場所、道具・被験者（実験に協力してもらえる対象者）など様々な調整力が試されます。

また、結果について相関があるのか、統計的に差があるのかを検定するなど統計的手法が必要になります。

今回の授業では、自分の競技に関する論文を要約、それを元に自己分析を行った後、その論文の要約と自己分析の結果をグループディスカッションしました。



